

受付番号	担当 IPM	受付者

xxxx 年 xx 月 xx 日

国立大学法人電気通信大学 知的財産部門長 殿

著作物届出書 記入例・解説

本届出書記載の著作物について国立大学法人電気通信大学著作物取扱規程に基づき届け出いたします。

1. 著作物の名称：

〇〇用画像処理プログラム

2. 著作物の種類

- プログラム
 データベース
 設計情報
 ノウハウ
 マニュアル
 画像／動画
 教材
 実験ノート
 その他

3. 著作物の内容：

著作物の概要、技術的優位性、適用可能分野、動作条件等を記載してください。

〇〇で用いる画像処理プログラム。△△を××処理により検出し、得られた□□の情報を◎◎にリアルタイムに送信する。

これにより、従来は実現できなかった・・・の高速化が実現される。

4. 著作者

計 4 人 (学外者含む)

①著作者氏名 (持分比順に記入) ②氏名の英字表記 (First/Middle/Family)	★教員・研究員 (所属・職名) ★学生 (学籍番号・学科名及び専攻名) ★学外者 (大学/会社名 所属部署等)	①E-mail アドレス ②電話番号 (外線・内線・携帯番号等)	著作権の 持分比 合計 100%
1	〇〇専攻・教授	① taro.dentsu@uec.ac.jp	60 %
② Taro Dentsu		② 042-443-xxxx	
2	1312345・□□専攻	① manabu.tsushin@uec.ac.jp	20 %
② Manabu Tsushin		② 042-443-xxxx	
3	△△大学□□学部◎◎専攻	① seisaku@xxx.ac.jp	10 %
② Seisaku Kyodo		② xxx-xxx-xxxx	
4	△△株式会社研究開発センタ —	① syoriko@xxx.co.jp	10 %
② Syoriko Jouhou		② xxx-xxx-xxxx	
5		①	%
		②	

トラブルにならないよう、著作者は卒業生も含めてすべて記載し、著作者間で著作権の持分比を合意の上、記載してください。

卒業生は、学生の時の所属を記載し、連絡先は現在のものを記載してください。その際、②電話番号の欄に住所も記載してください。

受付番号	担当 IPM	受付者

契約書で著作権の帰属に関する取り決めがない場合、著作権は作成した側（外注先）に帰属しますので、注意が必要です。

9. 外注による著作物の作成

著作物の作成を外部に発注した場合、その外注先の名称、外注に関する契約書において著作権の帰属をどう規定しているかを記載ください。

	外注先の名称	契約書における著作権の帰属
1	×××システム開発株式会社	ソフトウェア開発委託契約により、著作権は委託側（大学）に譲渡される。
2		

10. 関連する他の知的財産（発明等）：

本届出書記載の著作物と関連する発明（特許）等があれば記載ください。

	出願番号等	代表発明者、名称等
1	特願 2018-123456 本学整理番号(18-OXXJPOO)	電通 太郎、「画像処理装置、方法、プログラム」
2		

11. 補償金の配分

著作権の利用許諾等により収入を得た場合、大学が負担した必要経費を除き発明と同様に大学：研究室：著作者＝40%：30%：30%で配分します。著作者からの申し入れにより大学が認める場合には、大学への配分40%を除いた残りの60%について、当該著作物の特性を考慮して、研究室と著作者の配分比率を変更することが可能です。ご希望される配分比率を記載ください。

	大学	研究室	著作者
希望する配分比率	40% (変更できません)	50%	10%

12. 著作者からのコメント：

なにかコメントすべき事項があればご記入ください。

著作物活用に対する補償金細則第2条をご参照

受付番号	受付者	担当 IPM